

## 9. 福岡市における食事からの残留農薬一日摂取量調査

保健科学課 森川 英俊・藤井 優寿・加藤 由希子  
常松 順子

平成 26 年度県内保健環境研究機関合同成果発表会

平成 23～25 年度において福岡市におけるマーケットバスケット方式による残留農薬の一日摂取量調査を行った。その結果、数種の農薬を検出したが、対 ADI 比が 0.0006%～0.14%であり問題のない結果であった。また、農薬が検出した群においてどの食品由来か個別分析を行ったところ、個々の食品の基準値を超過するものはなかった。

摂取する食品の種類や量は、地域別に異なっており、市内を流通する食品を対象として農薬の一日摂取量を把握しておくことは、市民の食の安全安心を確保する上で重要なことであり、今後も本調査を実施していくことが必要である。